

本日のテーマ

日本人の歴史意識れきしいしきはなんだろうか？

キーワード

□自ら（みずから：能動のうどう、おのずから：受動じゅどう）

□丸山真男まるやままさお（つぎつぎに、なりゆく、いきおい／無責任の体系）

日本語の「自ら」という言葉は、どういう言葉ですか？

この言葉は、日本人の考え方の特徴とくちょうを表しています。

具体的には、日本人の主体性しゅたいせい（agency）の感覚かんかくを、表しています。

「自ら」という言葉には、2つの読み方があります。

①「みずから」と、②「おのずから」という2つです。

①「みずから」とは、「自分によって」（by myself）という意味いみです。

②「おのずから」とは、「自分以外の人・ものによって」（naturally）という意味です。

具体的には、「自分以外の人・もの」とは、運命うんめいの感覚です。

①は能動のうどう（active）、②は受動じゅどう（passive）と言います。

日本人は、能動と受動の感覚を同時に持っているのです。

具体的には？

日本人は、「～になりました」という言い方をします。

例えば、「結婚けっこんすることになりました」という言い方です。

この言い方には、「みずから：能動」と、「おのずから：受動」の2つの意味が含まれます。

①結婚するという自分の意思いしと、②結婚するという運命の感覚です。

「～になりました」という言い方には、日本人の主体性の感覚が表れています。

このような、「みずから」と「おのずから」の感覚は、歴史についての考え方についても同様どうようです。

歴史についての考え方を、歴史意識れきしいしきと言います。

まるやまさお せいじがくしゃ けんきゅう
丸山真男という政治学者は、日本人の歴史意識について研究しました。

彼によれば、日本人は、「おのずから」の歴史意識を持っています。

つまり、個人の考えや行動を超えた力が、歴史を作るという歴史意識です。

この「個人の考えや行動を超えた力」のことを、彼は「つぎつぎに、なりゆく、いきおい」と言いました。



「おのずから」の歴史認識は、無責任ではありませんか？

ある意味では、その通りです。

「おのずから」の歴史認識では、自分で歴史に参加せず、歴史を運命に任せます。

社会や時代の雰囲気によって、歴史が決まっていくということです。

すると、歴史の責任を取る人がいません。これは、無責任です。

丸山真男は、こうした日本人の歴史意識を「無責任の体系」と呼んで、批判しました。

*注意点…今回は、日本人論（日本人の特徴）に関する議論を紹介しました。ただ、国民の特徴を捉える

ことは難しく、様々な意見があります。ひとつの意見だけを信じると、ステレオタイプ（Stereotype、偏見）

に繋がります。偏見を持たないためには、まずは、たくさんの知識を持つことが大切です。同時に、知識だけでなく、自分の目で確かめることも大切です。

★日本人の歴史意識とは何でしょうか。また、あなたの歴史意識はどうですか。書きましょう。

Today's Theme: What is Japanese Historical Consciousness?

Keywords:

- **Active** (能動 - *Nōdō*)
- **Passive** (受動 - *Judō*)
- **Self/Naturally** (自ら - *Mizukara/Onozukara*)
- **Masao Maruyama** (Next-after-next, Becoming, Momentum / System of Irresponsibility)

The Meaning of "Mizukara" and "Onozukara"

What kind of word is the Japanese term "自ら" (*onozukara/mizukara*)? This word expresses a characteristic of Japanese thinking—specifically, the Japanese sense of **agency** (subjectivity).

The word "自ら" has two different readings:

1. **Mizukara**: Meaning "**by myself**" (Active).
2. **Onozukara**: Meaning "**naturally**" or "by someone/something other than myself" (Passive).

Specifically, "someone or something other than myself" refers to a sense of **fate** or **destiny**. Japanese people hold both the active and passive sensations simultaneously.

Example: In Japanese, people often use the phrase "**~ni narimashita**" (it has come to be). For instance, when saying "**I am getting married**" (*Kekkon suru koto ni narimashita*), the phrase includes both meanings:

- **Active (Mizukara)**: One's own will to get married.
- **Passive (Onozukara)**: The sense of fate that led to the marriage.

This sense of "Mizukara" and "Onozukara" also applies to how history is perceived, which is referred to as **historical consciousness**.

Masao Maruyama and the "System of Irresponsibility"

The political scientist **Masao Maruyama** studied Japanese historical consciousness. According to him, Japanese people possess an "**onozukara**" (passive) historical consciousness. This is the belief that history is created by forces beyond individual thoughts and actions. He described this force as "**tsugi-tsugi ni, nariyuku, ikioi**" (the momentum of becoming, one after another).

Is "Onozukara" historical recognition irresponsible? In a sense, yes. Under this view, individuals do not actively participate in history; instead, they leave history to fate. History is

decided by the "atmosphere" of society or the era. Consequently, no one takes responsibility for history, leading to what Maruyama criticized as a "**System of Irresponsibility.**"

Points to Note

This lesson introduced discussions regarding "**Nihonjin-ron**" (theories on Japanese characteristics). However, defining national characteristics is difficult and opinions vary. Relying on only one perspective can lead to **stereotypes** and prejudice. To avoid prejudice, it is important to gain broad knowledge and verify things with your own eyes.

Reflection: What is Japanese historical consciousness? Also, what is your own historical consciousness? Let's write it down.
